

# TARTAN

## 特別展

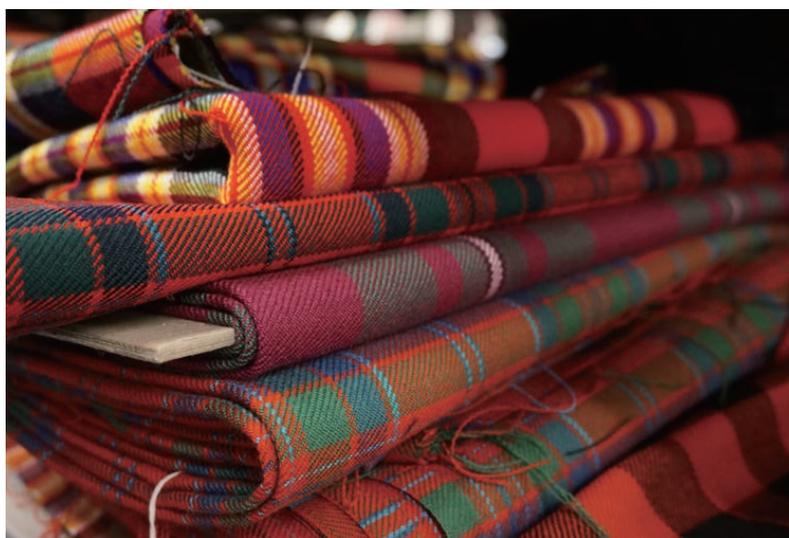
### スコットランドからの贈りもの タータン展

2018年9月15日(土)ー11月11日(日)



## 世界中で愛されるタータンの秘密

スコットランド北西部・ハイランド地方で発展し、世界各国で愛されている格子柄「タータン」。本展は「タータン」をテーマにした本格的な展覧会で、布地やドレス、関連する美術作品、書籍など約250点を一堂に集め、その魅力、歴史などを幅広く紹介します。また、スコットランドで活躍中のデザイナーの作品に加え、地元・神戸で企画・考案された「神戸タータン」も発信します。



100種類以上のタータンの布地を一挙展示 ※写真はイメージです

## 展示構成

### 第1章 「タータンとは」

スコットランドの地で発達したタータンは、彩色されたウールを綾織にした毛織物でした。タータンのデザインは誰もが知っているものですが、この章では、意外と知られていない歴史や定義、製造工程などを紹介。あらためてタータンとは何かを明らかにしていきます。

### 第2章 「タータンの受難と復興」

タータンはスコットランド北西部に位置するハイランド地方で発達した織物です。18世紀にはイングランドの侵攻に対抗するハイランド人たちが、タータンを戦いの象徴として身につけました。ハイランド人にタータンの着用が禁止されてからその復活に至るまでの時代を、19世紀に活躍した風刺画家ジョン・ケイなど同時代の作品を通してひも解きます。



ヘンリー・マクベス＝レイバーン  
(原画：ジョージ・サンダース)  
「第5代ゴードン公爵」  
1929年 個人蔵

### 第3章 「タータンの種類」

タータンは目的や用途によって分類されています。ハイランド人が氏族（クラン）ごとに身につける〈クラン・タータン〉、軍隊用の〈ミリタリー・タータン〉、地域に根差した〈ディストリクト・タータン〉、王室のための〈ロイヤル・タータン〉、特定の企業や個人のために作られたタータンなど様々な種類が存在します。この章では、門外不出とされる王室専用タータンも展示。数多くのタータンが存在していることを体感していただけます。



キンロック・アンダーソン  
「男性用キルト（正装）一式」  
2018年

## 第4章 「多様化するタータン」

20世紀以後、タータンはファッションとして世界中に広がりデザインとして拡散していきます。本来のテキスタイルと離れてデザインが注目される中、発祥地スコットランドではタータンの伝統を守りつつも新しい試みがされています。現在のスコットランドで活躍するデザイナーの作品を通して、タータンの意味や役割を探ります。



ヴィヴィアン・ウエストウッド  
タータン・スーツ  
1993年  
神戸ファッション美術館蔵



アフタヌーン・ドレス  
1865年頃  
神戸ファッション美術館蔵



ジョイス・ヤング  
ウエディングドレス  
2018年



ハウィー・ニコルスビー  
男性用キルト一式  
2018年

## 第5章 「タータンと日本」

明治以降、洋服の文化とともに浸透してきたタータンが、今日のように日本人にとって身近な存在となるまでの道のりを、当時の衣類、雑誌、ポスターをまじえて紹介。日本人にとってのタータンとは何かを探ります。



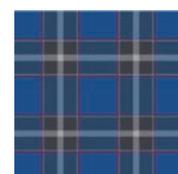
高田喜佐  
シューズ  
1990 - 2002年  
神戸ファッション美術館所蔵  
(高田邦夫氏寄贈)



KENT男性用スラックス、スタジアム・ジャンパー  
1967年  
神戸ファッション美術館蔵 (くろすとしゆき氏寄贈)

## 関連展示 「神戸タータン」

2017年の開港150年を記念して誕生した「神戸タータン」。新しい神戸をイメージする「神戸タータン」と本展オリジナル「ミントタータン」を使用し、神戸松蔭女子学院大学の学生がデザインした作品5点を紹介します。



神戸タータン

## 関連イベント

## ● 記念講演会「タータンの魅力」

日時：2018年9月15日[土] 14:00-15:30  
 講師：奥田実紀（作家・タータン研究家）  
 会場：4階 第1セミナー室  
 定員：90人  
 参加費：無料（ただし入館券が必要）

[申込方法] 参加者全員の名前、年齢、住所、連絡先を明記の上、メール（workshop@fashionmuseum.or.jp）か電話でお申し込み下さい。

## ＜奥田実紀プロフィール＞

『タータンチェックの文化史』（白水社）、『スコットランドタータンチェック紀行』（産業編集センター）、『図説タータンチェックの歴史』（河出書房新社）、『すてきなタータンチェック』（福音館書店）など、著書多数。日本スコットランド協会会員。

## ● ギャラリートーク

日時：2018年9月22日[土]、10月14日[日]、28日[日]。いずれも14:00-（30分程度）  
 講師：当館担当学芸員  
 会場：特別展示室  
 参加費：無料（ただし入館券が必要）  
 ※ 申込不要

## ● ワークショップ

## ■ 「ストライプリボンでつくるタータン風ブローチ」

お好みの色や太さのリボンの交差で生まれるタータン模様でオリジナルブローチを作ります。

日時：2018年9月29日[土]、10月13日[土]。いずれも14:00-17:00  
 ※ 作業の所要時間10～20分、時間内で随時受付  
 会場：1階 ロビードリンクコーナー付近  
 参加費：200円（ただし入館券が必要）  
 ※ 申込不要



## ■ 「格子柄の生地で作るプチハット」

ペットボトルのふたとタータン模様の生地でキュートなプチハットのアクセサリーを作ります。

日時：2018年10月6日[土]、20日[土]。いずれも14:00-17:00  
 ※ 作業の所要時間10～20分、時間内で随時受付  
 会場：1階 ロビードリンクコーナー付近  
 参加費：200円（ただし入館券が必要）  
 ※ 申込不要



## ■ 「フェリシモ ハッピートイズ」（タータンを使ったパンダ人形づくり）

タータンの生地を使用してハッピートイズの「愛くるしいパンダくん」を作ります。

日時：2018年9月24日[月・祝休] 13:00-16:00  
 会場：4階 第1セミナー室  
 定員：20人（先着順、定員になり次第締め切り）  
 参加費：1,000円（材料費込み）

[申込方法] 参加者全員の名前、年齢、住所、連絡先を明記の上、メール（workshop@fashionmuseum.or.jp）か電話でお申し込み下さい。



同時開催

コレクション展  
「衣服の幾何学デザイン」

複雑な形を○、△、□(まる、さんかく、しかく)などの単純な幾何学図形へと置き換えることは、古代より行われてきました。本展では、衣服生地への幾何学的な模様だけでなく、フォルムそのものを球や円錐などの幾何学図形で表した衣服を展示します。



エミリオ・プッチ  
イヴニング・ドレス  
1968年頃  
神戸ファッション美術館蔵



クリストバル・バレンシアガ  
カクテル・ドレス  
1958-59年頃  
神戸ファッション美術館蔵



ティエリー・ミュグラー  
ジャケット「イマノイド」  
1991年  
神戸ファッション美術館蔵

※「コレクション展」は、当館でこれまで行ってきたベーシック展示の新展開を図るものです。



## 特別展 スコットランドからの贈りもの タータン展

2018年  
9月15日(土)～11月11日(日)

開館時間：10:00 - 18:00 (入館は 17:30 まで)

休館日：月曜日、2018年9月18日(火)、25日(火)、10月9日(火)

※(月・祝休)の9月17日、24日、10月8日は開館

入館料：一般 1,000(800)円、大学生・65歳以上 500(400)円、  
高校生以下 無料

※カッコ内は 30人以上の団体料金です。

※特別展と常設展(コレクション展)の両方をご覧ください。コレクション展のみの観覧は受け付けません。

※神戸ゆかりの美術館、小磯記念美術館の当日入館券(半券)をお持ちの方は割引を受けられます。

主催：神戸ファッション美術館、神戸新聞社

後援：ブリティッシュ・カウンシル、スコットランド国際開発庁、日本スコットランド協会、  
神戸ファッション協会、神戸タータン協議会、サンテレビジョン、ラジオ関西

企画協力：ROBINS

展示協力：大阪樟蔭女子大学

### お問い合わせ (広報担当)

TEL : 078-858-0050

FAX : 078-858-0058

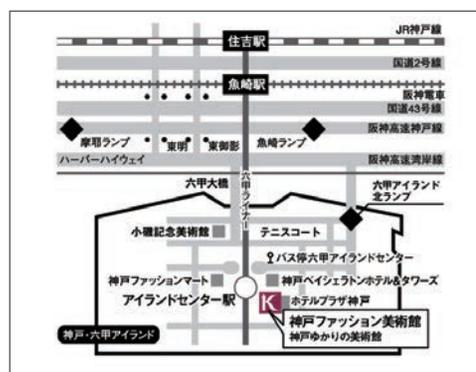
Eメール : [press@fashionmuseum.or.jp](mailto:press@fashionmuseum.or.jp)

〒658-0032 神戸市東灘区向洋町中 2-9-1

<http://www.fashionmuseum.or.jp>



神戸ファッション美術館 検索



[電車ご利用の場合]

JR「住吉駅」・阪神「魚崎駅」のりかえ六甲ライナー「アイランドセンター駅」下車南東すぐ

[お車ご利用の場合]

阪神高速神戸線「摩耶」・「魚崎」ランプから約 10 分  
阪神高速湾岸線「六甲アイランド北」ランプから約 2 分  
三宮からハーバーハイウェイ経由約 15 分

※駐車場は、美術館隣接のタイムズ神戸ファッションプラザ  
駐車場をご利用ください。

駐車場利用料金：60分 300円

※1日最大 500円 (平成 30年 6月現在)